



*isesaki illumination night*

いせさきイルミネーションナイトは、伊勢崎市の新しい冬の風物詩として、波志江沼環境ふれあい公園において2008年から毎年開催されています。今回は、伊勢崎商工会議所の鈴木専務理事といせさきイルミネーション実行委員会の高沢さんに会場をご案内いただきました。

市民の力で光輝くイルミネーション

いせさきイルミネーションナイトの特徴は、市民ボランティアの方々や地元企業によって作り上げられる地域に根ざしたイベントであるということです。市民ボランティアの方々の協力によって、簡易的な電球の取り付けや運営などが行われているほか、市内の企業からも高所の電球の取り付けや骨組みの組み立てなど専門的な作業のサポートを受けています。また、「伊勢崎市らしいものを作りたい」という皆の思いから、会場には伊勢崎市の歴史的建造物などをモチーフとしたモニュメントも多く飾られています。使用する電球の数は年々増えており、2012年は80万球の電球を使用しました。来年は100万球を使用し、会場がさらに華やかな光で彩られる予定です。



いせさきイルミネーションナイト 2012の様子をご紹介します

入場ゲート

入場の際には、「イルミネーション協力金」という形で中学生以上の方に100円以上の協力金を募っています。



20mツリー

高さ20mの大きなツリーは、会場の外からも一際目を引きます。ツリーの真下に立つと、空から光が注いでいるような、幻想的な光景を楽しむ事が出来ます。

円形校舎  
(旧伊勢崎市立女子高等学校)



大観覧車「ひまわり」



旧時報鐘楼



伊勢崎市を代表する数々の建造物が会場を彩ります。華蔵寺公園遊園地の大観覧車「ひまわり」をモチーフとしたモニュメントは、伊勢崎市から設計図を借り、実際の観覧車の1/3の大きさと忠実に作られています。

ペロタクシー

伊勢崎市が観光イベントなどで使用しているペロタクシーもイルミネーションでデコレートされています。「動くイルミネーション」として人気があり、子どもを乗せて走るととても喜んでくれるそうです。



時計

伊勢崎工業高校の生徒さんが、毎週地元の企業に通いながら、技術指導を受けて完成させた力作です。このようにイベントを通じた産学連携も行われています。



幸せの鐘

鐘を鳴らすと幸せが訪れるという「幸せの鐘」。イルミネーションナイトの人気スポットの一つで、鐘を鳴らすために行列が出来ることもあるそうです。



今回の研修交流会では、地域の方々が連携して取り組む様子を見学することが出来ました。参加者からも「説明を受けたことで、仕組みや価値を改めて理解することが出来た」「地域づくりの参考になった」などの感想が寄せられ、大変有意義な研修交流会となりました。